

<2015 年秋 消費者の暮らし向きに関するアンケート 調査結果より>

福井県民の消費者マインドは…

**「暮らし向きは改善の傾向。でも、今後の先行きが不安…。
 今後は支出をしぼって、貯蓄を増やしたい」**

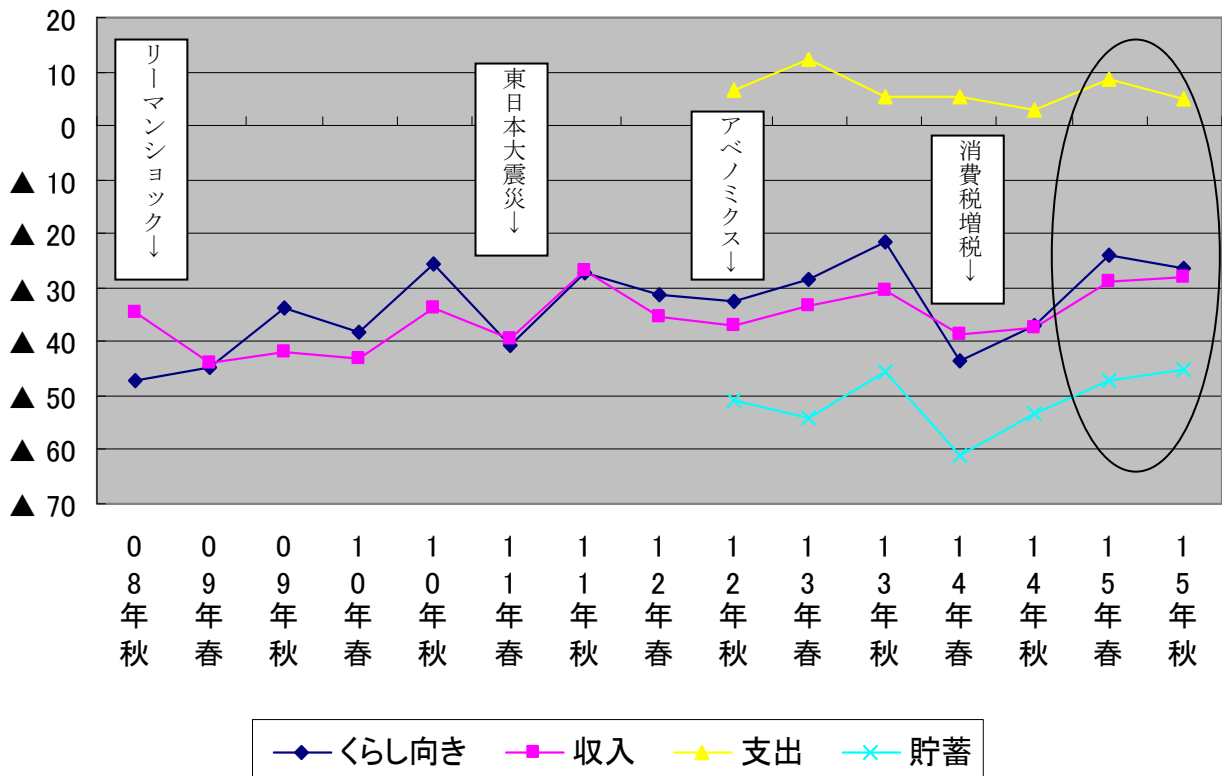
福井県内消費者に今後半年間の暮らし向きについて質問し、半年前と現在を比べた生活実感の D. I. 値（「良い」「やや良い」から「悪い」「やや悪い」の回答割合を差し引いた数値＝景気動向指数）の結果から、福井県民の今の消費者マインドが見えてきました。

<春調査の D.I. 値の比較>

- ① 「前年と比べて実質的な暮らし向き」や「前年と比べて実質的な収入」の変化について聞いたところ、春の調査に比べて「暮らし向きが（やや）良くなった」「収入が（やや）増えた」と回答した人の割合が増えました。つまり、前回調査に比べて県民の実質的な暮らし向きは改善傾向が見られます。

前年に比べて現在の実質の暮らし向き	
15年春	15年秋
▲ 35.9	▲ 23.0
前年に比べて現在の実質の収入	
15年春	15年秋
▲ 35.9	▲ 24.1

今後半年間の暮らし向き、収入、支出、貯蓄のD.I.値経年推移



- ② 春の調査結果と比べると、今後半年間は「収入」が増えると思う人の割合が増えていますが、「暮らし向き」は悪くなると思う人の割合が増えて、「支出」を減らそうと考えている人の割合も増えていきます。また、「貯蓄」が増えると考えている人の割合も増えていきます。